

2024年度 臨地実習指導研修会 新たな気づきを得る教育実践の リフレクション（省察）方法

2024年度臨地実習指導研修会を以下の通り開催いたしました。
研修会の様子と参加者アンケートの集計結果をご報告いたします。

研修日時 2025年3月16日（日）10:30～15:30

研修場所 東京学芸大学

講師 渡辺貴裕氏（東京学芸大学教職大学院 准教授）

研修目的

看護学実習（臨地実習）についての自己の関わりを題材にしたリフレクションの方法について学ぶ。

研修目標

1. 教育学の専門家の講義から教育実践のリフレクション方法の基本を理解する。
2. 他者の指導経験が、教育学の専門家とのやり取りを通してリフレクションとして再構成されるプロセスを知り、臨地実習場面における教授活動のリフレクションの実際を理解する。
3. 自身の臨地実習指導場面をグループで共有し、相互にリフレクションしあう経験を通し、その方法を習得する。

研修スケジュール

時間	内容
10:30～10:40	はじめの挨拶、オリエンテーション
10:40～11:40	レクチャー 講師 渡辺貴裕氏
11:40～12:30	代表者による指導事例紹介、ロールプレイ
12:30～13:30	昼休憩
13:30～14:55	グループワーク
15:00～15:20	グループワークシェア、講師からコメント
15:20～15:30	まとめ

研修会の様子

レクチャー
渡辺貴裕氏
(東京学芸大学)



はじめに渡辺先生の講義を聞き、リフレクションについて理解を深めました。

ロール
プレイ



代表者による実習指導場面のロールプレイとリフレクションに参加者全員で共有しました。

グループ
ワーク



グループに分かれて、メンバー全員が臨地実習での困難事例をリフレクションしました。

グループ
ワーク
シェア



各グループワークで学んだこと・気づいたことを全体でシェアし、最後に渡辺先生からコメントをいただきました。

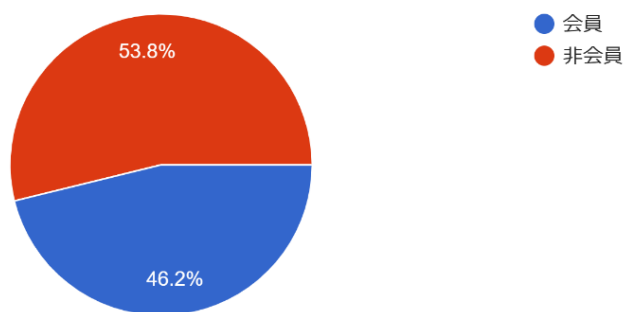


研修会参加者によるアンケート集計結果

- ・参加者：17名（申し込み22名、事前欠席連絡2名、当日欠席3名）
- ・アンケート回答者：13名（回収率76.5%）

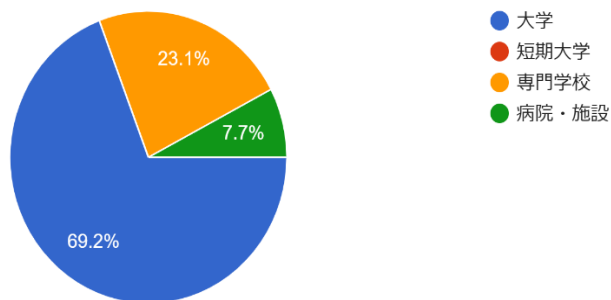
日本看護学教育学会の会員の有無を教えてください

13件の回答



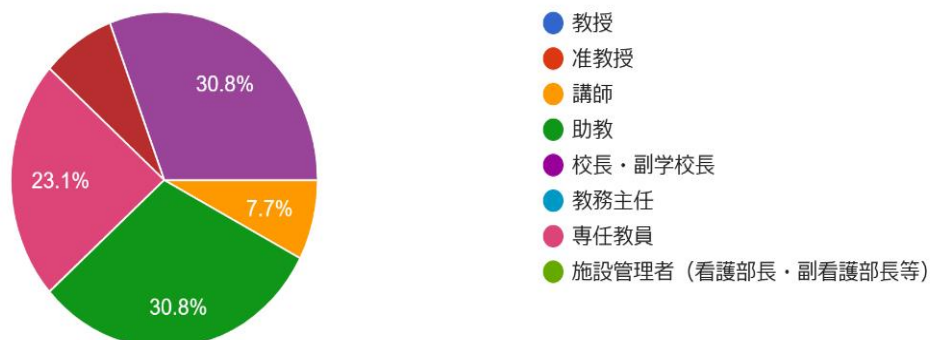
所属機関を教えてください。「その他」の場合は具体的にご記入ください。

13件の回答



職位を教えてください。「その他」の場合は具体的にご記入ください。

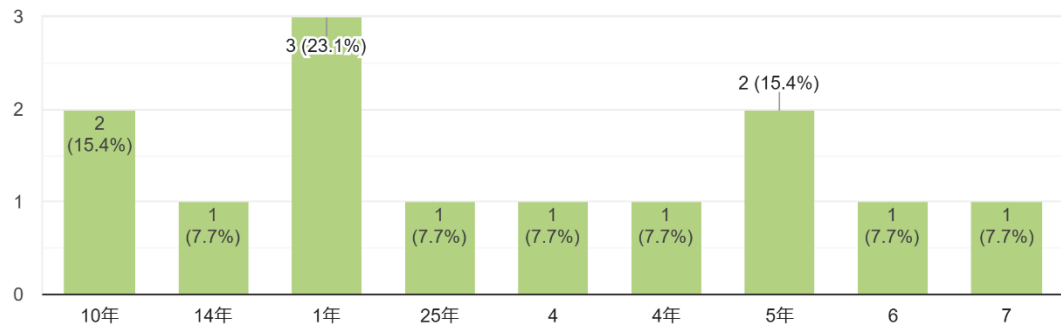
13件の回答



アンケート集計結果

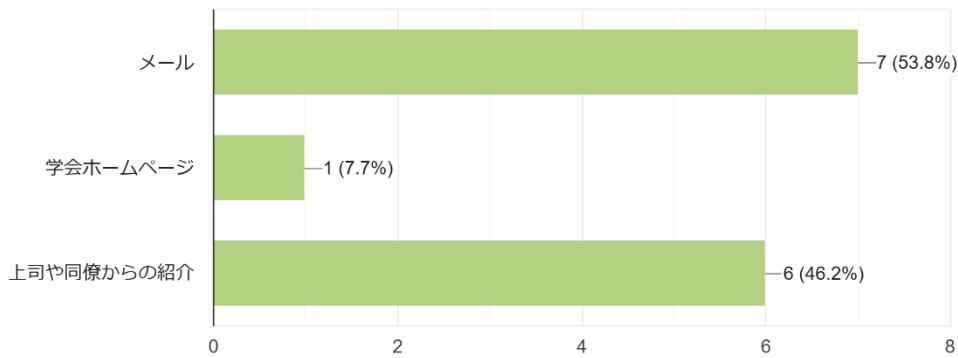
教育経験（又は、指導者経験）をご記入ください（例：5年）。

13 件の回答



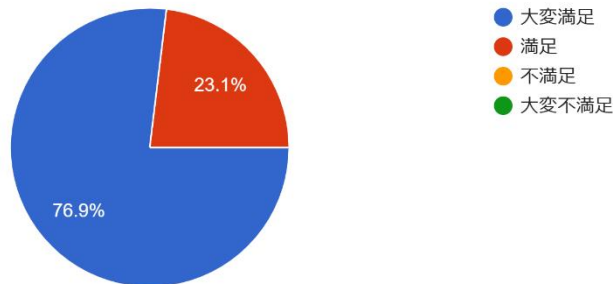
本企画を知った媒体について教えてください（複数回答可）。

13 件の回答



本企画に参加された満足度を教えてください

13 件の回答



アンケート集計結果

本企画に参加して役立つと思った内容

- ・リフレクションについて、わかりやすい説明で、今後に役立つと感じた。
- ・学生、教員の立場になって、リフレクションを学べた。
- ・モデルを使って考えることができるということを知れたこと。
- ・ALACTモデルを知ることができたこと、モデルを意識して話し合いを進めていくことで、気づきや発見が得られることです。
- ・ALACTモデル、グループでのリフレクション方法。
- ・コルトハーヘンのALACTモデルが大変勉強になりました。第2局面から第3局面に進むことの大切さ、対話しながら振り返り気づくことの大切さを学ばせて頂きました。
- ・コルトハーヘンのALACTモデル。具体的な問いの仕方を知る事ができ、すぐに実践できそうだと感じた。
- ・日頃から、リフレクションという言葉の使い方が人によって違うと思っていました。研修で得た本来の意味を説明できると考えております。教師同士で経験を話し合い合うこと、対話することに意味があることを組織に伝えたい。
- ・リフレクションの視点、その時何を感じたのか、何を考えたのかなど、ひとつ一つを丁寧に掘り下げていくことにより、自分では気がつかなかった感情や考えに気がつくことができること。
- ・相手の話を聞く際の姿勢や思考をについて良い気づきを得ることができました。先生のお話もとても面白く、プレゼンテーションの方法も勉強になりました。
- ・今後の学生指導に役立つ。
- ・省察的な内容に基づいて実習指導の振り返りに活用したい。
- ・自分の傾向が、少しわかったような気がした。

本企画に参加した感想等

- ・楽しくできた。
- ・とても貴重な学びになりました。ありがとうございました。
- ・とても有意義な時間でした。
- ・実習指導で感じていた困難感の原因や、意識せずに行っていた看護師像の押し付けに気づき、これからの実習指導をより良くと確信できた研修でした。
- ・研修を通してリフレクションの理解を深めることができました。学生の考えや感じたことに気づける、そこから個々に応じた指導へと繋がられるようにしたいと思いました。学びが大きく次年度の教育活動に繋がる研修でした。
- ・看護とは関係のない領域の先生から、教育やリフレクションを学ぶことができ、とても新鮮だった。教育に改めて関心をもつことができたし、学生や新人など、人を育てる楽しさや深みに改めてハマった気がする。

アンケート集計結果

本企画の内容・展開方法について

- ・ 講義→リフレクションの例→実習指導場面のリフレクションと、とてもわかりやすく学びに繋がる研修でした。午後のグループでリフレクションをして語り合う時間があつという間だったので、ここにもう少し時間があれば良いなと感じました。

研修会で取り上げてほしいテーマ

- ・ 授業設計、主体的な学習を取り入れること。
- ・ 授業の方法についても知りたいと思った。
- ・ 教育心理学(教育をする上で人の気持ちを理解するコツ)や発達障害をもつ学生や新人との関わりについて学ぶ機会が欲しい。
- ・ 専門学校から大学にトランジットした教員がどのようにしたら、自分の経験を学士教育に活かせるかについて学んでみたいです。



研修会にご参加いただき、
ありがとうございました！

企画・運営者：教育活動委員会

委員長 茂野香おる(淑徳大学)

副委員長 水方智子(松下看護専門学校)

委員 栗原幸子(沖縄県立看護大学)、坂下貴子(淑徳大学)、曾田陽子(愛知県立大学)、中村幸代(東都大学)、西田 好江(泉佐野泉南医師会看護専門学校)、和田 裕子(砂川市立病院附属看護専門学校)

※五十音順、所属は令和7年3月時点